No. 113　　昭和36年8月1日

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所　田辺印刷株式会社
上田市原町　TEL1492

千曲会報

編集兼発行人　小林尚一
発行所　社団法人千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野6243・東京43341
電話上田1215(代表)1218(直通)

メリヤス業界の現状と将来

郡是製糸株式会社
東京営業所長　馬場長市

メリヤス産業といえばその範囲は極めて広範囲に渡る繊維産業となるが問題をメリヤス肌着及び外衣に絞ってその現状及び将来につき検討することとした。

繊維産業の中には「午後3時の産業」といわれるものがありながらメリヤス産業だけは必需衣料品として存立して来たが昨今その製品が「午前の産業」として注目され，所謂成長製品としての脚光を浴びるに至りその将来に大いに期待がかけられる状態となって来た。即ちメリヤス業界を生産面から概観すると最近特にその生産過程に著しき変化を来しつつある事を上げねばならぬ。

先づ第一に原糸素材の種類が極めて複雑多岐に渡る事が上げられる。戦前の業界に於ける使用糸は綿，毛，絹等の天然繊維とスフ，人絹，の所謂人造繊維であったが，戦後は戦時中のブランクによる世界繊維業界との立ち遅れが明白になるに及んで，次々と新しい繊維が輸入され更に国産化された。その第一番がビニロンで，次いでナイロン，アセテート等が工業化され，殊にナイロンは当初イタリー式撚糸機によるウーリーナイロン紡績糸のスパンナイロンがフイラメントヤーンと共に市場に出現，靴下を始め外衣肌着の分野に驚異的な進出を遂げた。最近ではポリエステル系繊維テトロンが東レ，帝人で国産化されアクリル系ではカシミロン，エックスラン，カネカロン，ボンネル，ベスロン等のチョップで外衣，肌着の原糸として10%及び綿混糸で大量に市場へ進出，その他テビロン，バンロン，ママロン等々数えきれないほどの化，合繊が出現し，一方戦時中人絹として悪評の高かったレーヨンがトリコットトランゼリーの人気に伸び，ベンベルグ，アセテートと共に再び経編界へカムバックし，メリヤス業界は化繊，合繊のお花畠と化した。一方天然繊維の綿糸，毛糸も著しい進歩を遂げ化，合繊との激しい競争に対応して綿糸は細番化，コーマ，ペルー綿等の使用による高級化と平行して特殊番手の供給を始め，独特のメリヤス品質を打ち出した。又両者の繊維の混紡，混編により各々の繊維の特長を生かした所謂複合繊維製品が出現するに至った。かくして現在の業界では十年前に予想も出来なかった各々性格の異なる多種多様の原糸を縦横に駆使しバライテーに富む糸使いで全ゆる風合の製品が市場に流れるに至った。

この様な化，合繊の著しい進出による原料糸の複雑化は，これ等化，合繊の原糸メーカーの販売政策と業界の企業合理化によって一層系列化が促進され又此の様な原糸の複雑化に比例して製品の多彩化をもたらした。数多くの化，合繊糸とその加工糸及びこれらの縦横無尽な交編混紡複合化は数え切れない素材の豊富となって製品の多彩化を促した。更に34年を境に消費水準の向上から来る一般的な理由の外に，良い製品でなければ競争に打ち勝てないという事から生産工程の増加と繊細なテクニックの駆使，附属品の高度化がなされ製品の高度化が行われた。

この様な状況のため，メリヤス業界では企業の合理化が推進され，生産設備の新陳代謝は能率化，新鋭化にさらに製品の高度化，デザイン化等が積極的に行われた。丸編関係では需要の激減した裏毛用吊機からフライス機，殊に成型フライス柄編機，外衣に進出するジャカード機等への転換が激しく，より高級化，能率化をもたらした最。近では合繊専用機まで出現している。トリコット機に於ては，戦前の低能率の機械は殆んど高精能の高速機に置き換へられ，企業の合理化が推進されなければ企業の在立さえ出来ない状態となった。



志賀高原渋池　信大光画クラブ　納屋留蔵

この様な業界の近代化，合理化に伴い，メリヤスの経営視模に大きな変化が認められて来た。昔から云われた「メリヤスとデキモノは大きくなったら潰れる」が通らなくなり，集中生産による高能率高品率が要求されることから有力企業は次第に大型化している。

この様な現況にあるメリヤス業界の将来はどうあるべきかという事に答える事は仲々困難なことであるが，二つの方向があると思われる。

その一つは，前記の様な複雑な原糸素材をうまく使うことによって今までに無い新しいムードのあるメリヤス製品を作り更に高級化して最近のレジャーブームに乗った商品を作り出す方向と，第二は，メリヤス業界以外の分野，例へば織物の分野へ進出していくこと。現に最近では，メリヤスの服地が出現している様に，今までのメリヤスの概念では考へられない様な分野へ進出していく方向とがあると思う。例へばワイシャツ生地は織物生地を使うのが常識となって居たが数年前より，トリコット生地による，ワイシャツが出現し順次その数を増しつつあり又メリヤスジャージー生地による婦人服は今や流行のちょう児となりつつあり，その例は，数えるにいとまはない。即ち我々は単にメリヤスの既存概念だけにとらわれず良きアイディヤを奔放に生かす事によって，自ずから新しい分野が開けて来る様に思われる。次に来る競争者が思わぬ他業界から現われて来ないとも限らないのである。

「メリヤスよさようなら」とならぬ様，我々は，日夜研鑽研磨し新しいアイディヤにより，マーケッテングに乗る商品を生みだす事に常に最善の努力を払わなければならないと考へる次第である。(36. 6. 8)

家蚕幼虫消化器官の局所的機能差に関する研究

信州大学教授 山 口 定 次 郎



論 文 要 旨

家蚕の幼虫消化器官の形態や生理に関しては一般昆虫においてのものと平行して立派な研究が極めて多いが，しかし従来は中腸（または中胃）は一本の管と見なおされており，局所的の機能分化があるかどうかについてはあまり注意が払われていなかった。そこで私は蚕についてこれら生理機能や，組織，細胞学的の研究を再吟味するとともに，病理学的の面からも検討を加え，中腸の局所的機能分化を中心としいくつかの新しい事実を明かにした。

論文の内容を総括的に記述してみる。

(1) 蚕に造影剤を添食させ，×ー線により生体のままで消化器官を透視し，また写真撮影により色々の場合の形，運動などを調べ，特に高等動物の腸と同様振子運動，分節運動などが明瞭に行われており，これは特に中腸後部に顕著であることを知った。

(2) 蚕の中腸皮膜のひだ（襞）は1令には見られないが2令から令を追って多くなることを見出し，またひだの形成過程を組織学的に調べた。

(3) 蚕の中腸につき中性赤染色によりアルカリ性消化液の分泌部位を知り，また葉緑素，タンニン，カーミンの吸着部位を調べ，黄血塩，赤血塩反応で1価および2価の鉄の吸収などを明かにし，これらが中腸後部に最多で，前端部，前部および中部などと順次に少なくなることを認めた。

(4) 蚕の外皮の上から消化器官の一定部と考えられる部分を結紮し，体液（血液）の性状の局所による相違を調べたところ，食桑中の場合は絶食中に比べて体液の屈折率，比粘度水素イオン濃度，メラノーシス，また酸素消費，遊離アミノ酸，蛋白質，グルコースなどの値は中腸の前部，中部に相当する部位の体液において高く，後部のそれは明かに低い。この事実から判断するに中腸の前部と中部は，営養物質の体液側への移行（吸収）が多量かつ速やかであり，後部組織は移行が少く遅く蓄積が多いと見られる。

(5) 中腸細胞内には多糖類、ことにグリコーゲンの蓄積が多いことがわかったので，PAS. Bauer など組織化学的の検出方法を用いて，種々の条件について研究したところ，グリコーゲン蓄積は中腸後部に最大で，中部これにつぎ，前部は最小である。すなわち中腸の後部のひだの多い部分はグリコーゲンの新成と分解を行う作用をもっており脂肪細胞と同様に糖類の中間代謝の役割を果していることを知った。グルコース添食実験で更にこれを確かめた。Wigglesworth(1942) は蚊（Aëdes）の幼虫で中腸の前半には脂肪を，後半にはグリコーゲンを蓄積することを認め，昆虫の中腸も高等動物の肝臓のような機能をしているものであろうと推論しているが私も蚕においても同様の機能があり血糖の調節もここで行なわれているであろうと考えている。

(6) 中腸組織が消化吸収のみでなく物質の蓄積にも与えるとすればどのように蓄積し，消耗するか，また局所的にはいかに分化しているかなどにつき食桑中および絶食中の蚕の中腸各部の重量を測定することにより研究した。これによると中腸前部，中部に比しその後部は速かに多く栄養物質を蓄積し速かに消耗することを知った。

(7) 蚕の中腸内消化液および皮膜組織内の消化酵素作用を中腸の前，中および後部の3部分と後腸とに別け胴部結紮の方法で消化液を採り測定したところ，一般にプロテァーゼ，アミラーゼおよびサッカラーゼがともに中腸後部では最も活性高く，中部，前部と前方にいたるほど活性が低いことを知った。また皮膜組織のアミラーゼだけは中腸中部において稍低い傾向が見られ，消化液のPHは前および中部に可也高く後部稍低いことを知ったが，この消化液のアルカリ性の高低と，酵素活性の大小は必ずしも平行していないものであるということを知った。後腸については腸内容物の水分率の相違もあって各種酵素の一定の値がえられなかったが，ただプロテァーゼは後腸部内容物内には全く見られなかった。

(8) また，中腸皮膜にはグリコーゲン分解酵素が認められその局所差も前項の消化酵素作用と同様な傾向を示した。グリコーゲン分解酵素は冷蔵処理などにより一時的に活性化されるが以後正常蚕のものに比しかなり減衰していくことがわかる。なお有機性燐酸塩の分解合成を促進するといわれるフォスファターゼは組織化学的に見ると他の消化酵素と同様に中腸後部に活性高く中部，前部と順次低下していることが判った。

(9) 蚕を生体のまま結紮し中腸を前中後に3区分し3時間位の後各部を切開し，夫々消化液を採り，その殺菌作用を，霊菌（赤色菌）を指示菌として研究した。これによれば中腸の前部と中部よりの消化液は殺菌力強大であるが，後部のものは常に稍弱く細菌の繁殖を許しやすい。これは生体消化管内容物中の細菌数を調べた従来の結果とも略一致する。なお実験により殺菌力を支配する主因はPHであることがわかったが前部および中部消化液は殺菌力大で後部消化液は稍弱いのも消化液のそのPHが関係し前中部ではPH高く（9.5以上）後部では低い（9.0内外）ことによると思われる。

(10) 中腸型多角体病蚕や空頭性軟化病蚕などの中腸皮膜細胞の変化について知るために，組織学的研究を行った。これによれば (1)，ウイルスを蚕に添食させた場合，また中腸多角体病を誘発させるために冷蔵処理を行った場合も，病気のきっかけとなる僅かな病原作用の相違によって早い時期に病気の種類が決ってしまうこと (2)，空頭症状蚕には細胞質の空胞化，核の膨大化を起すものと (3)，空頭蚕症状を呈し中腸型多角体を形成するものとがあることを知った (4)，またこれらの発病初期から末期まで組織学的ないしは細胞学的に観察したところ，病気に対する感受性は中腸後部の組織の細胞において極めて顕著で病細胞の変化が大きく中部，前部と前方にいたるほど変化が小さいことを知った。

(11) 中腸型多角体（ウイルス）病は増殖と中腸皮膜細胞内の核酸すなわちRNAおよびDNAの分布とその動きを組織化学的ないし生体染色により調べた結果

(1) RNA は起蚕の細胞質に少ないが食葉により著しく増し中腸後部に最多で中部最少前部に稍多いということ。

(2) 同一期のものでも細胞の個々によりRNAの量が著しく相違しているものがあること。

(3) 多角体形成初期の細胞質ではDNAに変化なくRNAが増加し，形成が完了するとRNAは減少しDNAも順次減少し消失していくこと。

(4) 病原的の外界刺戟が加えられると，核内特に仁のRNA核外のRNAと関連し細胞質に異常変化をあたえるもののようで，あることなどがわかり，このことがウイルスの増殖と密接に関係しているものと思われる。

以上のように蚕の中腸皮膜組織は形態，運動，生理機能，病気感受性などについてみるにその前部，中部，後部など局所的にかなりの分化を示していることが判り，さらに中腸型多角体病の多角体形成が何故蚕の中腸後部円筒細胞の細胞質内からはじまるかの理由についても知る端緒をえたものと思う。

附記　本研究を行い論文を製作するにあたっては東京大学教授有賀久雄博士，信州大学学長伊藤武雄博士，蒲生，八木倉沢，林，小泉（清）各教授よりたえず御懇切な指導や激励をたまわった。また研究室の清水（猛）降旗，市川（智）の三氏からは助手として献身的な助力を与えられた。なお養蚕学科の教官，同窓生，知己，友人など多くの人々から温情豊かな御支援をいただき感謝と共に1個人の微力をつらつら痛感した。ここに紙上を借りてこれらの各位に厚く御礼を申上げる次第である。

昆虫生理学者 Wigglesworth博士を迎えて

昆虫生理学の世界的大家である，Cambridge 大学教授の Wiggleswosth　博士は，かねて日本学術会議の招へいにより来日されており，内分泌学会にも出席され，日本各地を講演されていたが，今回母校前教授八木誠政博士のお口添えで7月4日母校に来学された。博士は学内有志教官と研究討論したあと，教官，学生その他関係者多数を前にして約1時間にわたり講演され，聴衆に多大の感銘を与えた。

博士の講演の内容は一言にしていえば，昆虫の真皮細胞の生理といってよかろう。従来，真皮細胞の役割は系統的に調べられていなかったが，博士はこの難問を見事に解明した。材料は主として Rho dni us（オオサシガメ）が用いられた講演はスライドにより博士の説明につづいて八木先生が要点を邦訳されるという形式がとられた。

真皮細胞の大きな役割は，角皮層の分泌にある。この層はおよそ3層からなり，ほとんどすべて真皮細胞によって分泌生成されるものである。ただ角皮の一部のみは，角皮自身の分泌生産物である。つぎの役割は鱗片の生成と，感覚器官の形成である。すなわち2回の分裂を行ない，できた4個の細胞の1個は退化，1個が電灯のソケット状となってそのなかに鱗片を発生する。同様過程で皮膚に分布する感覚器官が生成される。また通常の毛の生成も真皮細胞の変化した Trico gencell によってなされる。

新皮の再生における真皮細胞のたたずまいは，もっとも新しい発見で，細胞が新生され配列されるときは，極糸を出しそれによって旧組織に連絡しているというのである。つまり新生細胞は各1本の糸を出して，自らの配列に寄与する。この間若返りホルモンの皮膚に対する作用が，移植やホルモン注射などの手術によって明らかにされた。昆虫における幼虫，蛹，成虫といった生育階梯にともなう皮膚の変化は，真皮細胞がホルモンという仲立ちをえてはじめておこる形態変化（metamorphosis）なのである。　（N. K.）

繊維工業教育研究会傍聴記

繊維工学関係の学科をもつ全国の9つの国立大学の関係教官で組織している国立大学繊維工業教育研究会の年一回の会合が今年の当番校の母校で去る7月7―8の両日開催された山形大，群馬大，東工大，農工大，名工大，岐阜大，福井大京工繊大，および信州大の関係者約40名が出席し文部省審議官の岡野氏をゲストに迎え，当面する問題について意見が交換された。筆者はこの会の記録係として傍聴する機会を得たので以下第三者的立場からみた会議の模様と感想を述べてみたいとおもう。

今年の会議で問題になった最も大きな議題は「繊維工学科の在り方」についてであった。討議を通じて気が付いたことはこの議題に対する受け取り方が各大学によって区々である点である。それは大学によって実情が非常に違っていることに他ならない。工学部の繊維工学科と繊維学部の繊維工学とでは勿論，同じ繊維学部でも上田と東京と京都では事情がかなり違うし，また工学部内でも名古屋，岐阜，京都などの繊維工業地帯をその地域社会にもつ大学と桐生や米沢などの古い機業地をバックにもつ工学部とでは就職面においてもかなりの差があり，同日に論ずるわけにはいかぬようである。特に桐生や米沢などの工学部では他の学科（機械，電気，土木工化等）からの強い刺戟もあり，特定の産業を対象とした学科では良い学生が集まらない，万一のときのソブシもきかない，強いては業界からも敬遠されるという結果になることを憂慮し，繊維工学科の内容をより基礎的科目に重点を置いたカリキュラムへ改編発展せしめつつあるようである。

このように繊維の専門科目を削減して基礎専門に移行する過渡期には繊維の専門の教官がアブレるのではないかということ，その教官が基礎専門を担当する能力があるか否かという質問が某大学から出されたが，幸大ではそのようなことは全然なく，専門の教官が基礎を担当できないようでは困るといった穿った意見も聞かれたが，至極当然過ぎる話であって杞憂であったにせよそのような質問が出ることの方が不思議なのかも知れない。

結局は繊維工学というような特定な産業を背景にもち，どちらかといえば浅くてもよいから広い知識を有する便利屋的技能者を養成する学科が大学に必要であるか否かという問題に帰するのであるが，このことは現在の大学に技術者養成と研究者養成との目的上の区別がなく，旧帝大も旧高専も同じ大学である間はいつまでたっても当事者を悩ませる問題であろう。大学制度でも改変されて大学と大学院というような明確な色のぬり分けができればまた別な話である。しかしこのような紡績学科のカラーを作り，好ましからぬ評価を世間にさせてしまった責任の一部は当然教官側にもあることが指摘され，反省すべきであることが確認された。

幸か不幸か未曾有の好景気のおかげで学生の売れ行きが夏休み前に100%近くになってしまったが，いつまでもこの美酒に酔って繊維斜陽論を排斥し，前途洋々論をぶつのもよかろう。しかし渦中にあっては渦を眺めることはできないのである。渦に独立な系に立ってこの問題を考えてみたいものである。その意味ではこの会議の構成がみな同じ渦中の人達ばかりであり，お互に触れられたくないものを一様にもっていてそれにさわることがダブーであることが不文律になっているのである。そのような社会に進歩も発展もないことを過去の歴史がいやというほど教えている筈である。　（A. S.）

会員近況

五味克人君ブラジルへ就職

かねて海外雄飛の希望に燃えていた五味君（糸学3）は今回念願かなって去る7日5日午後4時横浜発のブラジル丸で勇躍出発した。同船は移民を送る船であるがすでに神戸から乗船した人と，横浜からの乗船者で船内はゴッタがえしていた。

埠頭には数千の人々がノボリや旗をたてて壮途を見送っていた。「送○○君」明治大学同窓会，拓植大学○○研究室とか，○○高校同窓会とかの旗印のもとに気勢をあげているもの，日ノ丸に寄書きなどしたものなど多彩な風景が見られた

老婆や娘さんが渡航の若夫婦に寄り添ってハンケチを目にあてているシンミリ組もあった。吾々もノボリぐらい準備してくればよかったと話しあったものだ。

同君の見送りは十数人の家族，勤務先会社の社長令弟小泉忠雄氏夫妻，学校からは山口先生，私，神奈川支会から宮城氏，佐久間氏，近藤氏，青木氏，斎田氏（石川県研修生）が代表で送ってくれた同君の勤務する会社は製糸一撚糸一織物製造を一貫して行なうもので同君はこれらの技術指導をする重要ポストにつくのである。高級技術者としていくので待遇も非常によい，これは繊維方面のみでなく技術をもって渡伯するものはいづれも好条件のようである。その準備のため1月には愛妻をむかえ，実に一ケ年にわたって製糸，撚糸，織物の技術を各地の有力会社で修得してきた。ブラジルの繊維業はこれからで，特に絹については全くの新興国の由である。同君の定住する地方は膨大なしかも肥沃な土地があり，好適な気候に恵まれて養蚕は年間最多7回でき，桑園も当分は無肥料でよいとのこと，当地の大富豪篠原氏は（昭和35年7月号参照）年5回の養蚕で2500貫の繭を得ている。同氏はその他養鶏，養豚，果樹栽培をやり，土地きっての有力者である。

生糸の値段は60 kg（1俵）36～40万円，それにつれて絹製品も高価であるが需要は極めて旺盛で人々は強く絹を欲しているようである（絹の輸入は禁止されている。）ブラジルにはすでに谷内（糸学1），丸山（糸学3）手塚（蚕学8）の3君が就職しており，今回五味君が加わるのである。同君は着いたら早速ブラジル千曲会をつくって，折々に情報を知らせてくれると言っていた。これらの諸君はいづれも愛妻を伴っており，至れりつくせりの文化生活をしている（昭和35年7月号参照）最初はちよっと，ホームシックにもかかるらしいがしばらくにしてそれもなくなり快適な生活ができるようになる由である。五味君の奥様は叔母一家が既に渡伯して成功しているのでこの点は心配ない。五味君の前途を祝福すると共に，既に活躍している同窓諸君の幸福を祈念してやまない。

（36—7—10 萩原）

宛先
Ilmo Sr. Katsuto Gomi
Koizumi and Amano L.T.D.A.
Rua Venceslau Brás,
208—1. and S/11e 12
Caixa Postal 2367
São paulo, BRASIL

森の石松会の総会

静岡県（当番）十九楽八峰

総会と言っても7名会員。第1，2，3回の内静岡の遠州在住の7人の悪侍と云う所。突如として現れた山口県の林新一君ゲストとして参加，但し堀本岩一君欠席。湯川，近藤は夫人同伴。時は初夏六月四日，場所は大井川西岸，朝顔日記



で周知の金谷町茶所牧野原の下，その中腹にある娯楽センターを会場に集合した君子然たる今以って女性にモテルと自画自賛の君貢・絹村先輩の道案内で先ず高原の一端にある諏訪神社武田信玄の築いた小さい城跡がある。夏草茂って静寂，古武士共の夢の跡戦国時代の徒党の一頭目の天下取り謀戦の陰に万卒と幾万幾十万のその家人を泣かしたことか，古今戦争は人類の敵である。砦跡で数百年の昔の武田勢に悲嘆の怒声を放っても無駄とばかり下山して会場へ入って陣取る。40年振りに会った老校長の古物，名は新しき林新一兄を肴に二令夫人の御酌で酒にビールに飲めや騒げやと戦場の如き光景を展開した。そろそろ出初った一同頭痛の種の坊主悪太郎会長の仏説教も御無理御尤と水に流し，神経痛を治したと薬の効能に夢中の薬屋の親父，大箸全快神経痛君，在学当時の女遊びの秘術を打明けるその道の雄，両横綱絹村，湯川先輩のノロケ話も鼻持ならず，近藤司法大臣の司政官当時の南方娘との恋話も益々焼きの廻った証拠で，古老共の夢は未だ若いゲスト林君に格別の取計いで会費全免を宣告したら，ソレデハ死ぬまで遠路参加すると申し出たから以後30年も来られたら処置なしだからと3年位と値切って置いた。会費無料に気をよくしてか「山口はウニとフグは全国一だが富士を大井川を見下しつつ見る景観は静岡が日本一だネ」とオ世辞を言うから曰く「モウロクしたか富士は山口にはないだはう」と一同に逆ネヂを喰ってギャフン。

36. 7. 9

鹿児島支会便り

支会長 中山吉二

暑中御見舞申し上げます

その後御無沙汰致しています。学部，千曲会共益々隆盛御慶び申し上げます。

扨而今回県の移動で辻義男（蚕24）技師及び牧宮寿雄（糸32）技師が鹿児島県庁農産蚕糸課に夫々栄転されましたので去る7月2日鹿児島市桜島附海で釣で祝賀会を兼ね支会総会を開催致しました出席者は下記の通り。

片倉工業末吉製糸所々長
関 茂（糸22）
〃 原料課長 鈴木 茂（蚕22）
岩切製糸 岩切 作治（糸22）
丸玉主人児玉新一，中山吉二，同夫人浜武八男，同令嬢。
鹿児島県庁農産蚕糸課蚕糸係長
辻 義男
同 牧宮 寿雄

以上支会員8人，随行2人計10人午前9時～午後3時迄桜島神海岸で魚釣（船を浮べ）午後3時半から児玉自宅で総会開催する。支会長辞任改正を計ったが精極辻，牧宮兄が支援することにして留任となった。

当日は児玉新一兄が魚釣の船その他一切の世話した上支会々場を自宅（鹿児島市内商店公休日の為もあり）提供され家族総員の接待に恐縮した。尚種々の出費をされ，関所長，岩切兄等亦過分のビールの寄贈等あって盛会裡に午後5時過ぎ散会した。

付言一当日中山支会長来客で魚釣参加出来ず児玉宅で皆んなの大漁を待ち鍋をかけて待ったが一匹も見当らなかった。随分釣れたと云う天狗連も真実かどうか？兎に角清遊に満足した模様。

残念なことは支会として常連の安田兄酒匂兄が公用で見えなかったのと，宇都宮，守屋氏に勧誘が充分出来なかったのも心残りであつた。 (36.7.15)

千曲会岐阜支会総会

7月16日（日曜日）岐阜市華陽ホテルに開催する。炎暑殊に甚だしい日であったが，特に母校からは小林助教授が，遠路出席して下さって感謝に堪えない。大洪水の跡でもあり，洋々たる南濃の水場平野地帯から，飛騨富山県境の山岳地に亘る岐阜県で，集合の不便さから出席者が極めて少なかったのは残念であるが，次回は，ほぼ中央にあたる下呂温泉で開催し，早くからＰＲに努めて，多数の出



席を期待することに決めた。母校の近況会報の運営，殊に，母校の拡充の為の，募金運動の状況等，詳細に亘って，小林先生から説明があった。大日本紡岐阜工場堀口友治氏から会計の報告，日比野一夫氏から，支会の再建方法等意見が述べられた。

東亜紡績大垣工場から榎本健治氏，大日本紡績大垣工場から三宅静雄氏来会されて，次回の総会の件，出席数を多くする方法等，熱心に討議された。次回は気鋭の支会長を迎へることにした。５時半宴に移り交々，母校を偲び愉快に歓談して，午後９時散会。

岐阜県在住者60余名であるのに，毎回その一割程度内外より出席が無いことは，何としても残念である。一昨年の再建支会の総会でも僅々，18名程であった次回は，大いに，出席者を多くして，活躍を期した。

小林先生から井上柳悟先生の御病気について快方に向っておられることを承る一同謹みて御全快を祈念し奉る（鍵谷記）

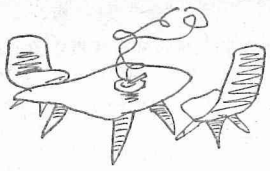
嶋崎昭典氏学位論文通過

農林省蚕糸試験場勤務の島崎昭典氏（糸36回）はかねて提出中の学位論文“製糸工程の統計的管理に関する研究”が６月29日東大教授会を通過し栄誉ある農学博士の栄誉を受けることになった。詳細は次号に掲載の予定である。

高野憲三氏理学博士授与さる

日立製作所日立研究所勤務の高野憲三氏（蚕26）はかねて提出中の学位論文“フルフリルアルコールの縮合物の研究”が４月19日東京教育大学教授会通過し５月26日付栄誉ある理学博士を授与された。

テレビとステレオ
岩城屋ラジオ店
上田市横町　ＴＥＬ　９８１



思いでの寄生木（11）

第九節（下）中野蚕糸時代

十九楽吐月峰静岡

○―(あ)　月給２円の昇給

入場して春過ぎ夏来り秋を送って，春蚕，夏蚕，秋蚕の三期の試験養蚕も終り秋から冬の閑散期を過して，亦来たる翌春には定期昇給２円の辞令を貰って22円となった。五十年を経過した今日（昭和36年）の２千円の昇給に匹敵する訳で，早速友達と程近い盛り場新井薬師の料亭角やで名物栗飯を食べ，１円の会費で一席設けて祝杯を挙げ一円の会費で充分頂けて十二分酔酊お日出度くなったものだ

その翌年春更に３円昇給痛せても枯れても25円の月給取りの助手となったのだが，私の一生中のサラリー生活中最高の月給袋だった事は助手寄生木の思いであった。

○―(い)　日曜日ドンタク満喫

青春の日曜は楽し。最低の散財で最高の満喫は安月給取の脳味噌をしぼっての工夫である。東京都心神田表神保町にその頃学生仲間に評判の洋食店の「おとは」があった。某月某日閑散な日曜日を幸い自己発案を立て１円の散財企劃次の通り。中野―お茶の水電車往復20銭，「おとは」に入って並製より五割も大いトンカツ一皿10銭也，生ビール大ジョキー杯10銭也，終ってライスカレー一皿10銭也（但し看板娘艶子の見面料無償で以上を以って腹一杯満喫する）帰途当時の呼称流動写真（無声）を見に10銭の入場券で二，三時間暇潰しをして７銭のバットを買い夕刻家路につく。散財〆めて計金67銭で１円から33銭のオツリで一日の日曜を楽しむと云う簡易算段であった。この立案は度び度び実行したものであった。

○―(う)　遊治楼物語

遊治楼物語と云うのは何も独りひそかに青楼に登って悪所遊びをした物語ではない。

従兄弟に某大学生でテニスの好きな青年選手があった。本名新馬勇次郎，アダ名を遊治楼君。この同年輩を相棒にしたある生活事件が起こったものだ。中野本町鍋屋横町の路次に一軒の貸屋を見付けて遊楼治君と二人半年近く同居を初めた所が自分は蚕業試験場で春から秋まで養蚕で毎晩遅そくなるか，又当直番だったのと相棒は学校通いで出掛けるとテニス其他で遅くなる事が多かったので毎晩電灯が独り外部まで照し二人不在で用心も悪かった。物語はそれから初まった。

二人共自炊は下手で自信はなく時間もなし，それで朝夕二食を中野本町通りにあった某弁当仕出店から運んで貰ふ約束が成立した。運んでくれる小娘が一寸皮のムケた美顔の17―８才の小娘で初めから遊治楼少なからず参って了った。

一方仕出屋は二人共不規則な生活で夜間など近くの悪友信太や五島某が出入してヴァイオリンなど弾いて大騒ぎするので支払が不安と見抜いたものか見切りを付けて仕出し御断りを喰ったので２人驚いたが特に相棒は運んでくれぬと小娘の顔が拝めぬので他の弁当屋に変へれぬ破目と相成った。鳩首相談の結果同じ試験場の桑樹部へ通勤している親戚の技手杉山一郎氏へ打明けて身元保証人になって貰って証文に連名調印してやっと再開弁当運びを続けてくれる事になり餓死を脱したのであった。之れ「遊治楼物語」と申すもの也。

○―(え)　品種の改良と生産

上田の蚕専で田中長三郎教授から蚕の実験遺伝学の講義を受けて生物界がダーウィーの進化論からメンデルの遺伝方式からヨハンゼン学理に移行した事は驚くべき学理の前進現象で前述にも少しく触れたが中野蚕試時代３ケ年は直接その実験を自ら地で行った復習と進歩でもあり蚕の一代雑種（F_1）の威力が斯くも品種の改良向上に役立つものが，一ツは自信又一ツには今後将来の蚕種屋の子として確乎たる指針を得て心強い限りであった

優性白繭の如きもあまりにも驚異の事実で尚又異型の一代雑種の優秀性，二化性化の「究理処理」の生種製法等，後日参考材料を一通り握ったのは蚕業試験場寄生木３年は無駄ではなかったと若人ながら深く心に将来を期したものであった中野入場の同じ日に助手で入った水産校出身の有望学徒松井佳一氏は深川の金魚店を実験場にして交雑試験新品種創成に探求していたが後年斯界の権威者となり金魚のみならず水産界の第一人者となった事は終戦後知り得た敬服すべき事実であった。又今日この駄稿を記している時（昭和35年5.30）広島大の川村教授はダルマカエル×トノサマカエルのの人工交配に成功して人工新種を創造したと新聞は報じている。遺伝創造は４，50年以来大変な進歩をしたが将来どんな成果を挙げるや計り知れない。

○―(お)　外山博士の逝去

入場３ケ年も夢の様に過ぎて大正７年春に至って生理部長外山亀太郎博士は病改って早春桜の花を待たず病死された事は何よりの打撃であった。ここで試験場生活と別れる運命の来た事を自覚し上田一中野からの日途たる実業界蚕種製造の第二世自営に踏み切り父新兵衛の念願を叶へてやるべきだと思考した。

○―(か)　我子家郷に帰る

曾って18才明治末葉45年春東京を素通りして信州上田へ，学業終って東京中野へ，ここに３年，今ここを去って父の所望する「我子の家郷帰還」の段階となった。当時蚕種業にはいろいろの難題が振りかかっていた時で行く道はけわしいのは予感出来たが運命と断念した。

三月末友人先輩の送別会後，餞別の目醒時計と購買部の貯金35円で弟妹等に土産品を持って６年振りに家郷袋井の自宅へ帰った。

母校ニュース

信大職員体育大会に参加

信州大学職員体育大会は去る7月14日15日の両日にわたり快晴の松本市各競技場において開催された。わが繊維学部でも卓球，庭球，バドミントン，弓道の種目に出場し，次のような優秀な成績をあげた。

卓球　優勝
弓道　金的（羽島），板割（竹田）
庭球　第3位

繊維機械学科建物の起工式挙行

7月21日午前11時より繊維機械学科建物の起工式が建設場所の旧蚕糸第1蚕室あとにお祭りして，次の次第で厳粛盛大に無事滞りなく挙行された。

1，一同着席　　1，開式の辞
1，祓行事　　1，祝辞奏上
1，草刈の儀　　小泉学部長
1，鍬入の儀　　伊藤信大学長
1，玉串捧典　　1，祝電披露
1，閉式の辞

式後小泉学部長の謝辞挨拶があり無事終了した。

本会記事

針塚先生追想録刊行代表委員会開催

6月3日千曲会館において刊行代表委員浦生，倉沢，林，野口の各顧問，荻原理事長，山口，松尾両理事の参集を得て協議された。松尾理事より資料の蒐集，追想録寄稿状況等経過報告あり，追想録の寄稿については特に先生と親交のあったと思われる方々に寄稿御依頼状を出すことに決定した。

会員の水害状況報告

過般の水害についてはすでに本会において被害地区の支会長宛に御見舞状を差上げ，同時に被害調査を依頼しました。今までに報告された状況を記し，被害をうけられた会員並に関係会社などに心からの御見舞を申上げる。

会員名	支会	被害状況
木村　正美	兵庫	床下浸水
細井　満	神奈川	床上浸水被害大
木下登美夫	竜川	自宅土砂6尺埋没被害甚大
木下　敦	竜川	床下浸水，農地埋没
久保田啓資	〃	桑園水田一町余土砂埋没
市瀬　有三	〃	水田三反歩土砂埋没
吉川　藤夫	〃	水田桑園三反歩埋没

・関係工場

新興紡績	竜川	工場一部浸水間もなく復旧
天竜社市田工場	竜川	全工場土砂埋没，全設備復元不能，概の損失5,000万円，復旧に要する費用を含めて被害総額2億5,000万円。

以上は篠田支会長（竜川）からの報告であるがいまだに連絡の不能なところもある由である。同支会長は支会員並に被害地区の復旧のために奔走している由衷心から御礼を申上げる。

（36.7.24記　荻原）

井上柳梧先生御病気経過良好

井上柳梧先生（上田繊維専門学校当時の校長）は心臓の完全全症にて療養されておりますが，治療処置が良かったこと又かつてアルピニストであっただけにしんのお強さもあって，その後次第に快方に向っておられ誠に喜ばしいことで一日も早く御全快をお祈りいたします。

母校剣道部再建会決算報告

時下ますますご清祥のおもむきお喜び申し上げます。

さて先般母校剣道部の再建を援助するとともに，いささか校風の発揚に寄与したい微意をもって，母校剣道部再建会を設立し，大方各位のご援助をお願いいたしましたところ，幸い卒業生並びに現旧職員をはじめ多数関係者各位の熱誠あふれるご支援を得まして，下記報告書の通り再建発足の予定計画を，完全に達成することが出来ました。誠に有難く感銘に堪えません。ここに収支決算をご報告申し上げるにあたり，このくわだてにご賛同下さいました各位に対し，衷心よりお礼申し上げるとともに，母校剣道部今後の発展に対し，この上とも何卒不断のご声援とご叱声を賜りますよう，偏にお願い申し上げる次第であります。

昭和36年7月20日

信州大学繊維学部剣道部再建会

母校剣道部再建会収支決算書

収入

募金総額	59,500円
クラブ会費より	3,130円
合計	62,630円

支出

防具5組	57,500円
印刷費	3,650円
ゴザ2枚	380円
通信費	1,100円
合計	62,630円

収支皆当

寄付者芳名（順序不同敬称略）

金3,000円　小宮山太助（系8）
　土屋　敦博（職）
金2,000円　竜竹　琦夫（化1）
　浅川　茂樹（蚕22）　宮下力（紡21）
金1,000円　牧野　弘（糸11）
　小泉　清明（蚕12）　井上　一郎（糸5）
　玉田城三郎（蚕21）　伊藤　幸男（蚕22）
　小池　恭正（蚕30）　伊藤　力三（蚕17）
　野口新太郎（紡2）　小山　長雄（蚕26）
　堀口　友治（蚕25）　清水　運策（職）
　宮尾　行雄（糸22）　小沢　丘（旧職）
　広川　正治（旧職）　長倉　稔（蚕25）
　母袋忠右エ門（蚕23）　遠藤利治（蚕31）
　川上　保人（学化1）　若林　寅雄（糸10）
　中村　広（糸27）　原田　種亀（蚕9）
金500円倉沢美徳（蚕2）　目崎武美（蚕26）
　小澄　晋（蚕2）　香山　清和（紡3）
　長池　遊亀（糸6）　町田　博（蚕21）
　松尾　卓見（蚕28）　白井　要締（糸12）
　武田　晃（職）　坂口　育二（蚕22）
　三浦乾太郎（職）　黒岩　茂隆（職）
　後藤　春雄（職）　四方　昭吾（職）
　柳沢　延房（職）　会田　源作（職）
　荻原　清治（糸12）　中村　六男（職）
　山口定次郎（蚕12）　石川　博（糸32）
　青沼　茂（糸33）　鈴木　恵（職）
　小泉　所（職）　羽島不二夫（職）
　池尾　健一（職）　矢本　博（職）
　古平　福紀（蚕29）　田口　亮平（蚕17）
　長島　栄一（職）　天白　一馬（職）
　関　博夫（蚕23）　遠藤　恒久（紡20）
　久間　秀彦（職）　沢路　雅夫（職）
　宮坂　正治（職）　外村　吉高（蚕28）
　飯塚　安治（蚕17）　久保　忠夫（紡27）
　和田　晋（糸12）　島田　林助（糸20）
　茅野　功（蚕19）　石井　光一（蚕30）
　関野　道雄（学生）　山中　啓幹（学生）
　八木　義博（学生）　山浦　道雄（学生）
　高槻　保雄（学生）　太田　卓良（学生）
　春原　利光（学生）　村上　和夫（学生）
　堀田　康房（学生）　中村　二郎（学生）
　鈴木富士男（学生）

合計　59500円　　以上

「針塚先生追想録」予約募集

頒価500円～1000円。至急予約申し込み下さい。事業遂行上是非とも知りたいと思います。

追想録原稿追加募集

400字詰原稿用紙（縦書）　6枚前後まで。どなたでも結構です至急お寄せ下さい。

篤志寄付について

計画的な募金はいたしませんが，心からなる篤志寄付は歓迎すべきことです。追想録がなるべくひろく頒布出来るように，またこの事業がスムースに運ぶように篤志の御援助を願います。　上田市信大繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

編集室より

郡是製糸，馬場長市東京営業所長より御多忙のところ貴重な御寄稿をいただきました。今後会員諸兄よりどしどし御寄せ下さるよう御待ちいたします。

学園は7月11日より学生が暑中休暇に入り3年生等は関係会社，試験場へ学外実習に出ております。そのさい各地会員諸兄の御指導をお願いいたします。

日頃の職場から，山に海に思いに活を入れて御勝々御健勝御祈り申し上げます。

編集委員　小林　尚一　香山　清和
　西村　善次　柳沢　幸男　一之瀬匡明
　小山　定　大屋　正尚　白井　要締

斎藤実先生御退官記念資金

（敬称略・順序不同）

金額	氏名	卒回
10,000円	武田　兵助	農1
3,000円	小泉　清明	蚕12
2,500円	町田　博	蚕21
2,000円	石井　光一	蚕30
〃	柳沢　新一	蚕31
〃	小口　良人	農1
〃	田中　茂光	農2
〃	柳沢　幸男	農4
1,500円	佐藤春太郎	旧職
〃	芹沢　暢明	農1
1,400円	武田　晃	職
1,300円	桜井　善雄	蚕35
1,200円	柳沢　和久	農4
1,000円	倉沢　美徳	蚕2
〃	佐藤　利一	旧職
〃	山口定次郎	蚕12
〃	川端　吉成	旧職
〃	小山よし子	職
〃	上村　圭一	学蚕1
〃	江間　正夫	蚕31
〃	久保田　升	蚕32
〃	田口　亮平	蚕17
〃	芹沢　弘文	蚕32
〃	池田　滋	蚕32
〃	伊藤　文男	蚕32
〃	堀内　彬明	蚕33
〃	影山　省三	蚕32
〃	中村　盛一	蚕32
〃	広瀬　洋	蚕32
〃	戸田　正行	農1
〃	若林　興孝	〃1
〃	岡田　善一	〃1
〃	清水　好	〃1
〃	窪田　大作	〃1
〃	桜井　周一	〃1
〃	中村　精一	〃1
〃	宮下　敏男	〃1
〃	松井　寛一	〃1
〃	中沢　功	〃1
〃	宮坂　昭	〃1
〃	小林　茂	〃1
〃	長峰　豊美	〃1
〃	清水　茂一	〃1
〃	飯島　暢	〃2
〃	島田　昭郎	〃2
〃	松田　清	〃2
〃	五味　徹	〃2
〃	深井　真澄	〃2
〃	鑓場袈裟男	〃2
〃	伊藤　清輝	〃2
〃	森泉　文雄	〃2
〃	西沢　芳智	〃2
〃	三井　尚敏	〃2
〃	竹原　甲三	〃2
〃	脇川　準	〃2
〃	山本　泰雄	〃2
〃	河西　健治	〃2
〃	大泉　英明	〃2
〃	塚本　券司	〃2
〃	土屋　松寿	〃2
〃	中村　弘	〃2
〃	横山　薫	〃2
〃	大月　敬造	〃2
〃	徳永　雄治	〃2
〃	堀　親郎	〃2
〃	川室　松郎	〃2
〃	大久保利彦	〃2
〃	岡野　靖	〃2
〃	白井隆太郎	〃3
〃	宮原　益次	〃3
〃	臼田　英信	〃3
〃	柄沢　博美	〃3
〃	吉田　茂	〃3
〃	石坂　茂	〃3
〃	竹内　与一	〃3
〃	寺田　良	〃3
〃	柿崎　慶一	〃4
〃	松沢　宗一	〃4
〃	秋山　俊之	〃4
〃	垣水　富郎	〃4
〃	渋沢　栄一	〃4
〃	田中　一夫	〃4
〃	加藤満亀雄	〃4
〃	峰村　和夫	〃4
〃	横沢昭二郎	〃5
〃	望月威智男	〃5
〃	依田　篤夫	〃5
〃	中沢　考夫	〃5
〃	塚田　長治	農2
900円	松尾　卓見	蚕28
〃	関　博夫	蚕23
800円	田中　一行	蚕35
〃	和田　善三	農3
〃	小川原禎寿	学蚕4
〃	木内　吉弘	農5
700円	尾藤　省三	蚕10
600円	坂口　文吾	蚕34
〃	福島　融	学蚕2
〃	勝野　貞哉	蚕35
〃	望月　政明	蚕31
〃	中野　茂	蚕32
〃	小池　渥	学蚕1
〃	米沢弥吾夫	蚕33
〃	鈴木　忠雄	蚕32
〃	竹内　彦保	蚕32
〃	大森　武	農2
〃	向井　昭郎	〃2
〃	伊藤　善行	〃2
〃	小林　一恵	〃3
〃	中村　清一	〃3
〃	小須田清雅	〃3
〃	我山　義広	〃3
〃	角田　定	〃3
〃	岡垣　脩	〃3
〃	松原　俊一	〃4
〃	中村　建治	〃4
〃	福島　規	〃4
〃	北村　貴幸	〃4
〃	鷹野三男人	〃4
〃	木内　明	〃4
〃	斎藤　浩	〃4
〃	尾和　信治	〃5
〃	吉平　福紀	蚕29
500円	中原　武	蚕33
〃	竹内　孝三	蚕14
〃	小松　茂男	学蚕4
〃	神田　春茂	学蚕5
〃	境沢　正人	蚕32
〃	金井　利夫	農1
〃	佐藤　暢	〃1
〃	宮下　忠椿	〃1
〃	井上　亨	〃1
〃	武捨　武雄	〃1
〃	矢木　博	職
〃	宮城　博	蚕13
〃	小山　長雄	蚕26
〃	西村　善次	蚕38
〃	柳田　方忠	農2
〃	清水　昭典	〃2
〃	清水　伝二	〃2
〃	松永　典雄	〃2
〃	井出　元一	〃2
〃	金子　健	〃2
〃	三輪　雅嘉	〃2
〃	関　武吉	〃2
〃	林　久雄	〃3
〃	田中　三夫	〃3
〃	高沢　巧衛	〃3
〃	酒井　春男	〃3
〃	渡辺　進	〃3
〃	吉沢　和弥	〃4
〃	佐藤　直樹	〃4
〃	下平　文穂	〃5
〃	内藤　善永	〃5
〃	岡田　純	農2
〃	光間　克一	〃2
〃	渡辺　寛次	〃2
〃	白井　要範	糸12
400円	水野　義男	蚕22
〃	降旗　剛寛	学蚕3
〃	土屋　拓大	〃1
〃	宮下　久吉	蚕32
〃	長谷川聖人	蚕36
〃	大井　秀夫	〃36
〃	小林　俊平	〃36
〃	石井　耕一	〃30
〃	鑓場　民雄	学蚕
〃	堀内　良孝	蚕38
〃	清水　運策	職
〃	竹田　寛	蚕35
〃	長島　栄一	職
〃	加藤　泰正	職
〃	柳沢　孝夫	学蚕2
〃	丸山　準	蚕33
〃	黒子　浩	蚕31
〃	戸谷　和夫	蚕34
〃	小林　正治	学蚕4
〃	金井　節雄	学蚕3
〃	芝間晴三郎	農3
〃	斎藤　芳夫	〃4
〃	北条　慎一	〃4
〃	松崎　守夫	〃4
〃	中原　円	〃4
〃	鈴木　穂積	〃4
300円	一之瀬匡興	紡26
200円	江口　嘉清	蚕22
〃	渡辺　昭典	〃37
〃	金沢昭三郎	〃35
〃	篠原　定雄	〃34
〃	高橋　威	〃35
〃	田沢　四郎	〃33
〃	石谷　雄一	〃38
〃	久保田重良	学蚕5
〃	小林　顕	蚕34
〃	西山　久雄	〃36
〃	児玉　郁郎	〃33
〃	若林　庫男	〃36
〃	滝沢　甚吾	学蚕1
〃	茅野　弘	学蚕5
〃	直井　利雄	学蚕6
〃	塩原昌佐司	学蚕1
〃	及川　英明	学蚕1
〃	宮川　英一	学蚕3

斎藤実先生御退官記念資金

収支決算書

収入	162.100円
支出	11.600円
写真代	1.000円
通信費	9.400円
事務費	1.000円
消耗品費	200円
差引	150.500円

日本工業規格表示許可工場

日本石綿紡織株式会社

本社 長野市三輪本郷

TEL (2) 6275 (3) 0093